

令和5年度 事業計画（案）

事業区分	事業内容
<p>1 鉄道利用促進事業 〈予算額〉3,450,000円</p>	<p>◇鉄道利用促進但馬キャンペーンの展開（来春～来秋） （3,000,000円：県2,000,000円、市町1,000,000円） 但馬をイメージしたキャラクター等のラッピング列車の運行やスマートフォンのGPS機能を使用したデジタルスタンプラリーの開催により、山陰本線、播但線における列車の利用者増加や誘客の促進を図る。</p> <p>◇レンタサイクル利用補助事業の実施（7月～11月）（450,000円） 兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者に対するレンタサイクル利用補助事業を実施し、2次アクセスの充実による鉄道利用促進につなげる。</p>
<p>2 鉄道利用啓発事業 〈予算額〉680,000円</p>	<p>◇途中下車ウォーキングイベントの実施（530,000円） 兵庫県立大学院地域資源マネジメント研究科から提案のあった「列車とジオトレイルを活用した周遊コース」や「たじま途中下車の旅ブログ」掲載の各駅周辺のモデルコース等を訪ね歩く、駅周辺の探索ウォーキングイベントを実施することで、鉄道利用への意識醸成を図る。</p> <p>◇JR豊岡駅見学会「車両基地見学会」の開催（150,000円） 小中学生の鉄道への興味を高め、利用促進につなげることを目的に、普段見ることのできない車両基地の見学会を実施する。あわせて、乗り方講座などの学習（モビリティマネジメント）イベントを実施し、親世代には利用啓発のチラシを配布する等、鉄道利用を働きかける。</p> <p>◇マイレール運動啓発ポスターの作成 JRローカル線への愛着「マイレール意識」を育むためのマイレール運動の一環として、山陰本線、播但線の日常利用を促進するため、沿線高校生（豊岡総合高校、和田山高校）がデザインしたポスターを作成する。 ※全県事業のため、費用は本庁が負担</p>